ボーダレスに生きる日本人起業家の
人生が動きだす、世界の眺めかた

【第7回】 2012年10月30日

▶ バックナンバー　▶ 著者・コラム紹介

アクマル・アブ・ハッサン （マレーシア・ハラル・コーポレーション代表取締役）

ツイート 66　いいね！　シェア 97　▼ ブックマーク

「ハラル」で日本を元気にする（2）
「おまえ、いくつ？」からはじまった僕の学習

1 | 2 | 3 | 4 ▶

「丼」に見る「日本」のブランド力

1970年、マレーシア北部の街アロースター（Alor Setar）に生まれる。1990年、マラヤ大学に入学、マハティール首相（当時）が推進した「ルック・イースト政策」の第7期生として群馬大学工学部に国費留学生として留学。1995年に東京三菱銀行（現・東京三菱UFJ銀行）に入行、マレーシアに赴任する。1998年に同行を退社、マレーシア国際貿易産業省に入省。2005年マレーシア貿易開発公社・大阪事務所に所長補佐として再び来日。マレーシア政府出資のジョム・マレーシア（株）代表取締役社長を経て、2010年、ハラル産業を広めるためマレーシア・ハラル・コーポレーション（株）を設立、現在に至る。

マレーシアのレストランでは「丼（Don）」とついているメニューは必ず売れる。ステーキ丼しかり、親子丼しかり、唐揚げ丼しかり。日本のものを食べたい、日本のものは身体にいい、ということがマレーシア人のあいだでは常識になっているからだ。

「丼」に限らず、日本のブランド力はすごいなあ、と思う。家電の分野では最近、韓国のサムスンやＬＧの製品が増えているけれども、それでもまだまだ日本のメーカーは人気がある。また、ビジネスで海外に行く時に日本人と一緒にいて日本語を話していると、相手から簡単に信頼してもらえる。

僕の母国マレーシアに限って言えば、日本はいつの時代も自分たちの「味方」だった。マレーシアは1957年に独立するまで（国の成立は1963年）イギリスの植民地で、第二次世界大戦中の日本の「侵略」は、マレーシア人の目には「解放」と映っていたのだ。そして、その歴史感覚は現在まで続いている。首都クアラルンプールの街中で「日本は好きか？」と聞けば、小学生から居酒屋の主人までみんなが口をそろえて「イエス」と答える。あるアンケート調査では、その割合は70％にのぼるらしい。

日本にいると、「日本は世界で落ちぶれてしまった」とか、「日本のブランド力は地に落ちてしまった」とか、ネガティブなことがよく言われる。けれど、僕からすれば、その見方は現実と全然あっていない。

僕がいろいろな国の人を通して肌で感じるのは、日本や日本人への「信頼」や「あこがれ」は、今も昔もまったく弱まっていない。先に書いたマレーシアの話は、他のアジアの国々や欧米にもあてはまる。

次のページ>> 日本人が知らない「日本」のチカラ

アクセスランキング

ダイヤモンドZAi最新記事
2014年の上がった株＆下がった株の中から見つけた2015年に買える株を大公開… 2014.12.30

桐谷さんの株主優待銘柄
2014年も株主優待株の底値買いで大儲け！桐谷さんの株主優待株の買い方＆選び方… 2015.01.03

新聞・週刊誌「三面記事」を読み解く
『ノーベル賞「中村修二」に違和感がある！』週刊新潮の記事に思わず納得。謙虚さと… 2014.12.31

ダイヤモンドZAi最新記事
2015年に100万円貯めるための第一歩！効果絶大のお金が貯まる10の心得教え… 2015.01.02

桐谷さんの株主優待銘柄
桐谷さんがバシッとオススメ！ NISAで買うべき優待株5＆高配当株5
2014.03.07

当たり前の経営
野田稔 著

嫌われる勇気
岸見 一郎/古賀 史健 著

ザ・ゴール　コミック版
エリヤフ・ゴールドラット、ジェフ・コックス・原作/岸良裕司・監修/青木健生・脚色/蒼田 山・漫画

絶体絶命でも世界一愛される会社に変える！
石坂典子 著

ストーリー思考
神田昌典 著

１２号　フロネシス　第３の産業革命
三菱総合研究所 編著者/小宮山宏　編集顧問/岩崎卓也、鮎川京子 編集協力

ボーダレスに生きる日本人起業家の
人生が動きだす、世界の眺めかた

【第7回】 2012年10月30日　▶バックナンバー　▶著者・コラム紹介

アクマル・アブ・ハッサン （マレーシア・ハラル・コーポレーション代表取締役）

ツイート 66　いいね！　シェア 97　▼ブックマーク

「ハラル」で日本を元気にする（2）「おまえ、いくつ？」からはじまった僕の学習

◀ 1 2 3 4 ▶

日本人が知らない「日本」のチカラ

今月10日にラザック現マレーシア首相から「もっとも輝かしいルック・イースト政策生」として表彰されたアクマルさん。（写真 The New Straits Times Press のホームページより転載）

　でも、日本人はそのアドバンテージ（優位性）にあまり気づいていないのかもしれない。もっと活かせるのに……、僕はいつも「もったいないなあ」と思っている。

　たとえば、日本の経済産業省が進めている「クール・ジャパン」戦略や、観光庁が行っている海外からの観光客誘致。僕が残念に思うのは、海外に向かって売り込まれるのが、いつも「日本人にとっていいもの」ばかりである点。本当はバイヤー（買い手）である「外国人にとっていいもの」を売り込まなくてはいけないのに、そこをきちんと把握できる日本人がいない。現地で行動していく人材が本当に不足している。

　日本企業は日本人の社員を海外のマーケットにたくさん送り込んでいるけれども、みんな日本人ネットワークから外に出ていかない。もっと、現地の人となかよくなって、彼らが何を考えているか、感じているかを知ろうとしない限り、バイヤーが本当に何を欲しがっているかはわからないはずだ。

　前回の記事（10月16日）に書いた通り、僕の会社〈マレーシア・ハラル・コーポレーション〉では、ハラル認定された日本の製品を海外に売り込むサポートをしている。その一環としてはじめたのが「アンテナショップ」。クアラルンプール、ジャカルタ（インドネシア）、バンコク（タイ）などの主要都市に牛丼やしゃぶしゃぶなどを味わえるアンテナショップを作り、現地の人に実際に食べてもらう。そうして、バイヤーが本当に欲しいと感じるものを把握して、「日本」の一番いいところを味わってもらう。魅力を伝えるには、このくらいするのがグローバル・スタンダードだと思う。

　マレーシア最大のショッピングモールであるミッドバレー内に2010年9月にオープンした「北海道市場」を見れば、日本人気がよくわかる。日本食が恋しい日本人だけでなく、現地の人で常ににぎわっている。「丼」をはじめとしたバラエティーに富んだメニュー、繊細なデザート、丁寧な接客は日本ならではのものだ。

ダイヤモンド社の電子書籍
読書を自由にするとびら。
文字サイズも思いのまま、スピーディ検索機能、気になる言葉はマーカー・チェック。ダイヤモンド社のiPhone・iPad電子書籍であなたもベストセラー体験を。

ダイヤモンド社 著者セミナー
フリーランスのための「一生食い続けるルール」、公開！
井ノ上陽一氏
1/22 (Thu) 19:00
詳しくはこちらをご覧ください

アクセスランキング

ダイヤモンドZAi最新記事
2014年の上がった株＆下がった株の中から見つけた2015年に買える株を大公開… 2014.12.30

桐谷さんの株主優待銘柄
2014年も株主優待株の底値買いで大儲け！桐谷さんの株主優待株の買い方＆選び方… 2015.01.03

新聞・週刊誌「三面記事」を読み解く
『ノーベル賞「中村修二」に違和感がある！』週刊新潮の記事に思わず納得。謙虚さと… 2014.12.31

ダイヤモンドZAi最新記事
2015年に100万円貯めるための第一歩！効果絶大のお金が貯まる10の心得教え… 2015.01.02

桐谷さんの株主優待銘柄
桐谷さんがバシッとオススメ！ NISAで買うべき優待株5＆高配当株5 2014.03.07

当たり前の経営
野田稔 著

嫌われる勇気
岸見 一郎/古賀 史健 著

ザ・ゴール　コミック版
エリヤフ・ゴールドラット、ジェフ・コックス・原作/岸良裕司・監修/青木健生・脚色/蒼田 山・漫画

絶体絶命でも世界一愛される会社に変える！
石坂典子 著

ストーリー思考
神田昌典 著

１２号　フロネシス　第３の産業革命
三菱総合研究所 編著者/小宮山宏　編集顧問/岩崎卓也、鮎川京子 編集協力

マレーシア人の憧れている雪国「北海道」を冠したネーミングもこのアンテナショップが大当たりした理由の一つだと思う。

ちょうど今、「Made in Japan」の輸出に加えて、イスラム教徒をこの北海道に呼び込む新しい事業を展開している。日本の代名詞は京都のように日本人は思っているが、イスラム国の人々は雪に憧れている。つまり一番訪れたい都市は「北の大地、北海道」だ。

しかし、彼らにとって日本は「行きたくても行けない国」となっている。それは、ハラル環境が整っていないためだ。僕の大好きな日本をもっとイスラムの人々に紹介したい、その解決策となったのが、この新規事業だ。北海道のホテルと提携して、ハラルメニュー、お祈りの場所を提供してもらう。もちろんその管理・監督・検査は僕の会社がハラル監査人として責任を持つ。

アウトバウンド（日本→海外）では、「Made in Japan」を輸出、インバウンド（海外→日本）では、ハラル環境を整えてイスラム教徒の旅行者を呼び込む、これが僕が考える日本の活性化だ。

次のページ>> ゼロから学び続ける力

◀ 前へ戻る | 1 | 2 | 3 | 4 | 次へ進む ▶ トップページへ戻る

ツイート 66 いいね！ シェア 97 g+1 1 B! 13

関連記事 » 本日のトップ記事 »

「ボーダレスに生きる日本人起業家の　人生が動きだす、世界の眺めかた」の最新記事 »

Special topics PR

あなたの会社も要確認！ ITバブル期設備に迫る「データセンターの動脈硬化」

【コンサル転職】日本発・独立資本のファームで、日本企業の成長に貢献！

国際機関の動向とビジネスは深く関わっている【公共政策を経営に取り込む】

「ずっとここで働きたい」と思える会社はこんな会社

【年収800万～3000万円級も】ヘッドハンターが厳選求人をあなたに

「ボーダレスに生きる日本人起業家の　人生が動きだす、世界の眺めかた」の最新記事　バックナンバー一覧

第9回 ケニアが育てた100万人の“グランパ”（2）「発展途上の自分」を作る　（2012.11.27）

第8回 ケニアが育てた100万人の“グランパ”（1）土に憧れるＩＴ長者　（2012.11.13）

第7回 「ハラル」で日本を元気にする（2）「おまえ、いくつ？」からはじまった僕の学習（2012.10.30）

第6回 「ハラル」で日本を元気にする（1）「日本人以上に日本人」な男の挑戦　（2012.10.16）

第5回 第5回：グーグルに勝利した男（3）「あの時、この言葉に出会っていなければ」僕の人生をつくった言葉　（2012.10.02）

関連記事 » 本日のトップ記事 »

「ボーダレスに生きる日本人起業家の　人生が動きだす、世界の眺めかた」の最新記事 »

書籍オンライン 本日のトップ記事 ▶トップページへ

疲れ
なぜ、一流の人は「疲れ」を翌日に持ち越さないのか
その1本が寿命を縮める!?疲れたときの必需品、栄養ドリンクに隠された危険な落とし穴

腰痛改善
つらい腰痛が１カ月でなくなる！「朝30秒の正座」健康法
腰痛の原因をたった30秒で治す「朝30秒の正座」驚きの効果

妊娠 出産 不妊
「2人」で知っておきたい　妊娠・出産・不妊のリアル
今は7組に1組のカップルが不妊の時代

絶体絶命
絶体絶命でも世界一愛される会社に変える！――２代目女性社長の号泣戦記
床にエロ本、壁にヌード写真の会社が、なぜ「掃除大賞」＆「文部科学大臣賞」を同時受賞したのか？

佐藤可士和の打ち合わせ
佐藤可士和 著

銀翼のイカロス
池井戸 潤 著

本棚にもルールがある
成毛眞 著

「課長」から始める　社内政治の教科書
高城幸司 著

（POSデータ調べ、12/14～12/20）

Facebookもチェック

ダイヤモンド社書籍編集局
いいね！ 6,550

ダイヤモンド社書籍編集局
2014年12月26日 9:59

【【ＮＨＫ式＋心理学】一分で一生の信頼を勝ち取る法】

◆年収を増やしたかったら、
ＭＢＡより「話し方」を学びなさい。
神田昌典×矢野香対談【後篇】…

もっと見る

Facebookソーシャルプラグイン

日本を強くする／志のある人材を募集中
「ペン」編集長の「俺とゼニス」
低予算でもできるセキュリティ対策とは？
ヒットを生む「発想力」が弱い企業の改善策
「１日２人以上経営者に会う」で磨く営業力
世界の旅行者のニーズに応えて急拡大！
中小企業を疲弊させるアベノミクス
建設業界の職人・人材不足を解決する策
【コンサル転職】“日本発・独立資本”の強み
集計前の“生の数字”にこそ意味がある

エグゼクティブ転職
【新転職サービスがスタート！】
年収８００万円以上のあなたの価値に見合った、キャリアアップをサポート

人事
【人で勝つ会社を作る実践集】
人事部必読！本当に使える社員を採用・育成するための秘訣とは？

ボーダレスに生きる日本人起業家の
人生が動きだす、世界の眺めかた

【第7回】 2012年10月30日　▶ バックナンバー　▶ 著者・コラム紹介

アクマル・アブ・ハッサン （マレーシア・ハラル・コーポレーション代表取締役）

ツイート 66　いいね！　シェア 97　▼ブックマーク

「ハラル」で日本を元気にする（2）「おまえ、いくつ？」からはじまった僕の学習

◀ 1 2 3 4 ▶

ゼロから学び続ける力

自分の目で確かめて、考える力は一番大切だと思っている。

僕自身、19歳で来日して以来、まったく未知の世界で毎日、いろんなことを勉強してきた。はじめて住んだ学生寮で先輩から「おまえ、いくつ？」と尋ねられたものの、マレーシアの大学で「年齢を訊く時は『あなたの歳はおいくつですか？』と言いましょう」と習っていたので、さっぱり意味がわからなかった。そんな小さな小さな「学習」からはじまって、銀行入行後に3年間の通信教育で身につけた金融商品の知識、日本人らしい冗談の言いかた、アフターファイブの人付き合いのしかたなどを、一つ一つ学んできた。

本格的にビジネスマンとして働くようになってからは、日本の仕事のやりかたを徹底的に「学習」した。たとえば、前回の記事（10月16日）に書いたように人間関係を大切にする点も、銀行の仕事を通して覚えた。

人と人の信頼を重視するので、日本でビジネスをする場合「推薦状」は効果バツグンである、名刺についた肩書きを最初に見る、といったことも、自分が起業するなかで学んだ。また、地域によってもいろいろなやりかたがあることもわかった。関西ではトップダウンで物事を決めていくのに対して、関東では現場の担当者が強い権限を持っている場合が多い。

日本では僕は外国人だから、日本人が「常識」として身に付けていることを「トライアル・アンド・エラー（試行錯誤）」で学習していくしかなかった。でも、今、振り返ってみると、こういう学習能力は母国にいようが外国にいようが必要な能力だと気づく。それは、グローバルに生きていくための必要最低限の能力とも言える。

僕には11歳と12歳の息子がいるけれども、彼らにも「自分で情報を集めて、自分のアタマで考えなさい」といつも言っている。彼らが将来、この地球上のどこで何をして生きていくのかについて、僕はいっさい口を出さない。親の役割は「教育を与えること」だけだと思っているから。

ついこのあいだも、新聞の朝刊を読んでいた次男が僕をつかまえて「お父さん、どうして自民党総裁に安倍（晋三）さんが選ばれたの？おなかを壊して総理大臣を辞めた人なのに……」と訊いてきた。たった11歳でも、きちんと習慣

ダイヤモンド社の電子書籍
読書を自由にするとびら。
文字サイズも思いのまま、スピーディ検索機能、気になる言葉はマーカー・チェック。ダイヤモンド社のiPhone・iPad電子書籍であなたもベストセラー体験を。

ダイヤモンド社 無料セミナー
クラウドファンディングで夢をかなえる本
知恵だけで1000万円集まる!!
板越ジョージ氏
1/21 (Wed) 19:00
詳しくはこちらをご覧ください

アクセスランキング

ダイヤモンドZAi最新記事
2014年の上がった株＆下がった株の中から見つけた2015年に買える株を大公開… 2014.12.30

桐谷さんの株主優待銘柄
2014年も株主優待株の底値買いで大儲け！桐谷さんの株主優待株の買い方＆選び方… 2015.01.03

新聞・週刊誌「三面記事」を読み解く
『ノーベル賞「中村修二」に違和感がある！』週刊新潮の記事に思わず納得。謙虚さと… 2014.12.31

ダイヤモンドZAi最新記事
2015年に100万円貯めるための第一歩！効果絶大のお金が貯まる10の心得教え… 2015.01.02

桐谷さんの株主優待銘柄
桐谷さんがバシッとオススメ！ NISAで買うべき優待株5＆高配当株5 2014.03.07

当たり前の経営
野田稔 著

嫌われる勇気
岸見 一郎/古賀 史健 著

ザ・ゴール　コミック版
エリヤフ・ゴールドラット、ジェフ・コックス・原作/岸良裕司・監修/青木健生・脚色/蒼田 山・漫画

絶体絶命でも世界一愛される会社に変える！
石坂典子 著

ストーリー思考
神田昌典 著

１２号　フロネシス　第３の産業革命
三菱総合研究所 編著者/小宮山宏　編集顧問/岩崎卓也、鮎川京子 編集協力

として身に付けさせてやれば、新聞に書いてあることを鵜呑みにするのではなくて、「なぜ？」と疑問を持って自分の頭で考えられるようになる。

息子たちには、言葉も通じない、友達もいないという環境で自分で生きていく力をつけてほしいから、学校が休みの時期は僕のマレーシアの実家に二人だけで行かせることもある。二人がこれからどんなふうに生きていくにしろ、グローバルでタフな力を身に付けてほしい。

次のページ>> 尊敬する人は田中角栄

◀ 前へ戻る | 1 | 2 | 3 | 4 | 次へ進む ▶ トップページへ戻る

ツイート 66 いいね！ シェア 97 g+1 1 B! 13

関連記事 » 本日のトップ記事 »

「ボーダレスに生きる日本人起業家の　人生が動きだす、世界の眺めかた」の最新記事 »

Special topics PR

【コンサル転職】日本発・独立資本のファームで、日本企業の成長に貢献！

国際機関の動向とビジネスは深く関わっている【公共政策を経営に取り込む】

寒い季節も臭くなる「男のニオイ問題」。「体が発するニオイ」に疎い男の実態

幸せいっぱい魔裟斗＆矢沢心夫婦が、２人目誕生をきっかけに考えることとは？

【年収800万～3000万円級も】事務系ハイキャリアへの道

「ボーダレスに生きる日本人起業家の　人生が動きだす、世界の眺めかた」の最新記事　バックナンバー一覧

第9回 ケニアが育てた100万人の“グランパ”（2）「発展途上の自分」を作る　（2012.11.27）

第8回 ケニアが育てた100万人の“グランパ”（1）土に憧れるＩＴ長者　（2012.11.13）

第7回 「ハラル」で日本を元気にする（2）「おまえ、いくつ？」からはじまった僕の学習（2012.10.30）

第6回 「ハラル」で日本を元気にする（1）「日本人以上に日本人」な男の挑戦　（2012.10.16）

第5回 第5回：グーグルに勝利した男（3）「あの時、この言葉に出会っていなければ」僕の人生をつくった言葉　（2012.10.02）

関連記事 » 本日のトップ記事 »

「ボーダレスに生きる日本人起業家の　人生が動きだす、世界の眺めかた」の最新記事 »

書籍オンライン 本日のトップ記事　▶トップページへ

なぜ、一流の人は「疲れ」を翌日に持ち越さないのか
その1本が寿命を縮める!?疲れたときの必需品、栄養ドリンクに隠された危険な落とし穴

つらい腰痛が１カ月でなくなる！「朝30秒の正座」健康法
腰痛の原因をたった30秒で治す「朝30秒の正座」驚きの効果

「2人」で知っておきたい　妊娠・出産・不妊のリアル
今は7組に1組のカップルが不妊の時代

絶体絶命でも世界一愛される会社に変える！――２代目女性社長の号泣戦記
床にエロ本、壁にヌード写真の会社が、なぜ「掃除大賞」＆「文部科学大臣賞」を同時受賞したのか？

40代以上は必読！老後難民から脱出する方法
【前編】老後準備資金0円が4割も…。「老後難民」予備軍が増加中！

『嫌われる勇気』コラボ with『BAR 嫌われ野菜』
「お父さん嫌い！」と娘に言われたら子育ては成功！

佐藤可士和の打ち合わせ　佐藤可士和 著

銀翼のイカロス　池井戸 潤 著

本棚にもルールがある　成毛眞 著

「課長」から始める　社内政治の教科書　高城幸司 著

(POSデータ調べ、12/14～12/20)

Facebookもチェック

ダイヤモンド社書籍編集局
いいね！ 6,550

ダイヤモンド社書籍編集局
2014年12月26日 9:59

【【ＮＨＫ式＋心理学】一分で一生の信頼を勝ち取る法】

◆年収を増やしたかったら、
ＭＢＡより「話し方」を学びなさい。
神田昌典×矢野香対談【後篇】…

もっと見る

Facebookソーシャルプラグイン

「ペン」編集長の「俺とゼニス」
低予算でもできるセキュリティ対策とは？
中小企業を疲弊させるアベノミクス
ヒットを生む「発想力」が弱い企業の改善策
【コンサル転職】“日本発・独立資本”の強み
集計前の“生の数字”にこそ意味がある
日本を強くする／志のある人材を募集中
建設業界の職人・人材不足を解決する策
「１日２人以上経営者に会う」で磨く営業力
世界の旅行者のニーズに応えて急拡大！

【新転職サービスがスタート！】
年収８００万円以上のあなたの価値に見合った、キャリアアップをサポート

【人で勝つ会社を作る実践集】
人事部必読！本当に使える社員を採用・育成するための秘訣とは？

ボーダレスに生きる日本人起業家の
人生が動きだす、世界の眺めかた

【第7回】 2012年10月30日

▶ バックナンバー ▶ 著者・コラム紹介

アクマル・アブ・ハッサン （マレーシア・ハラル・コーポレーション代表取締役）

ツイート 66　いいね！　シェア 97　▼ブックマーク

「ハラル」で日本を元気にする（2）
「おまえ、いくつ？」からはじまった僕の学習

◀ 1 2 3 4

尊敬する人は田中角栄

「誰のために」「何のために」仕事をするのか？

これは僕にとって常に大事な問題だった。20代から30代にかけては、やはり母国マレーシアのために働いていたと思う。僕を日本に送り込んでくれたマハティール首相が掲げた国の「ビジョン」、それを実現するためにできることをやった。外国企業の誘致だったり、ハラル認定された商品の輸出だったり、華僑やインド系の人材を活用したマレーシア製品の売り込みだったり……。その時々にいろんな事柄に取り組んできた。

今は日本のために働きたいと思っている。ところが、日本政府にはちゃんとしたビジョンがない。日本製のソフトやハードを輸出するという方針はよく聞くものの、なぜ、そうするのかという「ビジョン」と、だから、どうするのかという「方法」がはっきり示されない。

たとえば、田中角栄（1918-1993）の「ビジョン」と「方法」は、マハティール元首相のそれと同じくらい明確だった。1972年に発表された「日本列島改造論」では、「日本全国を新幹線、高速道路、連絡橋で結ぶことで地方を工業化して、当時、問題になっていた過密と過疎を同時に解決する」といっている。

どうして、田中角栄のような政治家が今の日本から出てこないのか、僕には不思議だ。「いい政治家がいない」「誰がやっても変わらない」といった不満はたくさん聞こえてくる。「じゃあ、あなたがやればいいのに」。つい、そう言いたくなる。

田中角栄は貧しさのなかから偉大な政治家になった。今の日本には彼が持っていたような「ハングリー精神」がない、というのはよく言われることだ。日本は世界で一番快適な国だから、わざわざ外へ出ていく必要もなければ、現状を変えなくてはいけないという危機感も湧きにくい。だから、行動に出る人がいないのだろうか。その原因が何であれ、これだけのポテンシャルを持ちながら「行動」だけが足らないのは、本当にもったいないと思う。

（次回は11月13日更新予定です）

ダイヤモンド社の電子書籍
読書を自由にするとびら。
文字サイズも思いのまま、スピーディ検索機能、気になる言葉はマーカー・チェック。
ダイヤモンド社のiPhone・iPad電子書籍であなたもベストセラー体験を。

ダイヤモンド社 著者セミナー
フリーランスのための
「一生食い続けるルール」、公開！
井ノ上陽一氏
1/22 (Thu) 19:00
詳しくはこちらをご覧ください

アクセスランキング

ダイヤモンドZAi最新記事
2014年の上がった株＆下がった株の中から見つけた2015年に買える株を大公開… 2014.12.30

桐谷さんの株主優待銘柄
2014年も株主優待株の底値買いで大儲け！桐谷さんの株主優待株の買い方＆選び方… 2015.01.03

新聞・週刊誌「三面記事」を読み解く
『ノーベル賞「中村修二」に違和感がある！』週刊新潮の記事に思わず納得。謙虚さと… 2014.12.31

ダイヤモンドZAi最新記事
2015年に100万円貯めるための第一歩！効果絶大のお金が貯まる10の心得教え… 2015.01.02

桐谷さんの株主優待銘柄
桐谷さんがバシッとオススメ！ NISAで買うべき優待株5＆高配当株5
2014.03.07

当たり前の経営
野田稔 著

嫌われる勇気
岸見 一郎/古賀 史健 著

ザ・ゴール　コミック版
エリヤフ・ゴールドラット、ジェフ・コックス・原作/岸良裕司・監修/青木健生・脚色/蒼田 山・漫画

絶体絶命でも世界一愛される会社に変える！
石坂典子 著

ストーリー思考
神田昌典 著

１２号　フロネシス　第３の産業革命
三菱総合研究所 編著者/小宮山宏　編集顧問/岩崎卓也、鮎川京子 編集協力